

# 会 議 録

平成 27 年 10 月 16 日調製

審議会等名	平成 27 年度 第 1 回三条市文化財保護審議会		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成 27 年 8 月 28 日（金）午後 2 時 30 分～午後 4 時		
開催場所	三条市中央公民館 音楽視聴覚室	傍聴者	1 人
出席者	審議会委員 荒木会長、渡辺副会長、石澤委員、岩田委員、岡村委員、佐藤委員、 関委員、高橋委員、田中委員、長谷川委員、平山委員、松井委員、 松岡委員、六原委員		
	事務局 大平市民部長、長谷川生涯学習課長、金子課長補佐、田村係長、 勝山主任		
欠席者	松永委員		
議題	(1) 会長、副会長選出 (2) 国登録有形文化財（建造物）の登録の答申について (3) 新潟県指定有形文化財木造阿弥陀如来立像の修復について (4) 平成 26 年度文化財関係事業報告について (5) 平成 27 年度文化財関係事業計画について (6) 『三条市文化遺産リスト』追加候補物件について (7) その他		
	1 市民部長 開会のあいさつ (以下、会長選出まで事務局による進行)		
	2 自己紹介		
	3 議題		
	(1) 会長、副会長選出		
事務局	会長について、委員の中から互選することとなっているので、推薦をお願いしたい。		
長谷川委員	会長に前会長の荒木委員をお願いしたい。		
事務局	会長に荒木委員をとという声があったが、いかがか。 (一同拍手)		
事務局	荒木委員に会長をお願いしたい。		
荒木会長	会長就任あいさつ 副会長についても、委員の中から互選することとなっているので、推薦をお願いしたい。		
長谷川委員	副会長に前副会長の渡辺委員をお願いしたい。		
荒木会長	副会長に渡辺委員をとという声があったが、いかがか。 (一同拍手)		
荒木会長	副会長に渡辺委員をお願いしたい。		
渡辺副会長	副会長就任あいさつ		

	(2) 国登録有形文化財（建造物）の登録の答申について
荒木会長	事務局より説明願いたい。
事務局	<p>国文化審議会は、7月17日に同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに三条市内に所在する旧外山虎松商店店舗兼主屋を国登録有形文化財に登録するよう文部科学大臣に答申を行なったので報告する。</p> <p>答申のあった旧外山虎松商店の建物は、中心市街地の東方に所在し、三叉路の角地に建ち、通りに面して縦長窓を配したパラペットを立ち上げ、コーニスを廻らしており、北辺には看板を取り付けた塀が続いている。戦後再建された商業建築で、地域のランドマークとして親しまれており、登録基準については、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」に該当する。</p>
荒木会長	パラペット、コーニスとはどのようなものか。
平山委員	パラペットとは、胸壁のことで看板建築ともいう。関東大震災以降に商店の正面側だけ壁を立ち上げた様式ができたものである。パラペットの上部に2重に段状になっている部分をコーニスという。
荒木会長	質問、意見はないか。
	(質疑、意見なし)
	(3) 新潟県指定有形文化財木造阿弥陀如来立像の修復について
荒木会長	説明についてどうするか。
事務局	修復を担当した松岡委員から説明をお願いしたい。
松岡委員	<p>本都寺の本尊の仏像で、平成24年3月27日に新潟県指定有形文化財に指定されたものである。仏像は鎌倉時代後半のもので、厨子は江戸時代の墨書があるので、江戸時代に製作された可能性が高いと考えている。</p> <p>指定の際に調査を担当された熊田先生から、台座の下周りに破損があり、両足先矧目が遊離しているなど、仏像の安置が不安定で倒れてしまう危険性があることから修理をした方がよいとのご指導をいただき、所有者と三条市、新潟県教育委員会と協議し修復作業を行なった。本格的な解体修理は行なわず、矧目の強化と小欠失箇所を補修を行い、全体的に表面の汚れをクリーニングした。また、台座の内部補強などや厨子の修復も実施した。</p> <p>修復前と修復後の写真を比較すると、汚れが取れ仏像の安定性も強化されたので、今後100年ぐらいいは適切に保存することができるものと考えている。</p>
荒木会長	<p>非常に詳しい修復報告書がまとめられている。仏像とともに後世に伝えていくべき修復の記録が書かれていて貴重なものである。</p> <p>修復の期間はどれくらいかかったのか。</p>
松岡委員	7月から3月までかけて修復を行った。8月25日に新潟県教育委員会主催の文化財講習会があり、この仏像修復について発表させていただいた。
石澤委員	全体の汚れが取れきれいに修復されているが、クリーニングの際にどのような薬剤が使われているのか。
松岡委員	界面活性剤を使用したりするが、基本的には、綿棒と水で行っている。表面の金箔も後補のものであるが、残りがいいので表面の汚れのみ除去した。

関委員	江戸時代の漆塗りの補修が行われていたとの話であったが、報告書の中に記載されているのか。
松岡委員	表面の塗り直しがされていることは確認できたが、技術的に除去できず、本来の形を損ねていないのでそのまま残してあるため、修復内容での記載はしていない。
荒木会長	仏像の背面に金箔はないが、当初から貼られていなかったのか。
松岡委員	今表面にある漆塗膜が後補のものである。鎌倉時代の仏像なので、正面性のみではなく、全体をしっかりと製作するので、当初は背面にも金箔が貼られていたものと思われる。江戸時代の修復の際は、金箔を節約するために貼らなかったのではないかと考えられる。
荒木会長	厨子が江戸時代ということであるが、仏像のみの時があったということか。また、ネズミの咬害はひどい状況か。
松岡委員	台座や光背は古くからあったものと思われるが、破損などがあり、今あるものは新しいものとなっている。台座は下部にあるので、湿気などで特に残りにくい。 彫刻部分はネズミに齧られていた箇所があった。
荒木会長	何か質問、意見はあるか。 (質疑、意見なし)
	(4) 平成 26 年度文化財関係事業報告について
荒木会長	事務局より説明願いたい。
事務局	平成 26 年度文化財関係事業は、文化財保護審議会を 2 回開催し、市指定文化財の指定や文化財調査報告などを議題とした。 文化財指定・登録は市指定 2 件、国登録が 1 件である。文化財の調査・管理については、建造物、古文書、歴史資料、下田郷のいしぶみ、吉ヶ平の民具の調査を実施した。文化財保護助成については石動神社の彫刻防虫菌処理の助成を行った。また、文化財防火デーに国登録有形文化財に登録されている丸井今井邸で防火訓練を実施した。 文化財の公開・活用については、三条市内在住の昆虫研究者の方から寄贈された学術的に貴重な五十嵐川流域の昆虫標本を展示した下田郷の昆虫展を初めて開催し、1,121 人の方から来場していただいた。下田郷のいしぶみめぐり、下田郷のいしぶみ企画展は、下田郷のいしぶみ調査の成果を活用して実施したもので、大変好評をいただき、来場者からは「下田地区に数多くの石仏などがあり驚きました」とか、「調査が終了したらぜひ本にまとめて出版して欲しい」などの声も寄せられた。 埋蔵文化財の調査については、大原遺跡・道東遺跡の本発掘調査などを行った。また、開発予定に伴う埋蔵文化財の基礎資料を整備するための試掘・確認調査は 10 件あり、大規模な開発予定地内での実施もあり、これらについては、今年度本格的な発掘調査を実施している。 埋蔵文化財の管理・活用としては、開発に伴う埋蔵文化財の所在照会が年間 140 件あり、この照会の中から数件の確認調査などを実施し、適切に埋蔵文化財の保護に努めている。埋蔵文化財の調査見学や資料の貸出、提供などが近年多くなっている。遺跡展示会では、「先史時代の文化交流～火炎土器の時代」をテーマに、五十嵐川流域

	と奥会津地方との八十里越をとおしての人やものの往来、交流があったことを、縄文時代中期の火焰型土器を比較して両地域の関わりについて考えるものである。また、遺跡体験出前講座、遺跡めぐり、大原遺跡・道東遺跡発掘調査現地説明会などを開催した。
荒木会長	質問、意見はないか。
渡辺副会長	遺跡展示会で展示した五十嵐川流域で出土する火焰型土器は、中魚沼郡津南町や長岡市などで出土する信濃川流域の火焰型土器と違いがあるか。
事務局	五十嵐川流域で出土するものも、信濃川流域で出土する火焰型土器は文様の構成も似ており同じである。津南町などでは大形のものが出土するが、五十嵐川流域では、吉野屋遺跡で1点大形のものが出土しているのみである。
六原委員	吉ヶ平の民具調査とあるが、集団離村される時には、吉ヶ平の方々は相当の民具を持っていたのか。
石澤委員	昭和45年の秋に集団離村した。多くの方が人に上げたりして、しっかりと調査して残されているものは少ないと思う。現在下田郷資料館にその一部が展示されているが、建物も含めて残されていれば価値があると思う。
長谷川委員	遺跡説明板を設置した印内原遺跡の印の漢字は、院内という字名もあるが、この漢字でいいのか。
事務局	下田地区の字名一覧にも印の漢字が使われている。ただし内という漢字は使わずに苗という漢字が当てられている。しかし、遺跡の名称については、発見された時に使用されていた漢字を学史的には使用するので、印内原遺跡とさせていただいた。
荒木会長	何か質問、意見はあるか。
	(質疑、意見なし)
	(5) 平成27年度文化財関係事業計画について
荒木会長	事務局より説明願いたい。
事務局	平成27年度文化財関係事業計画であるが、文化財保護審議会は、2回を予定している。文化財の調査では、建造物、古文書、下田郷のいしぶみ、吉ヶ平の民具、鍛冶の工場の建造物などの調査を実施する。文化財の公開・活用としては、下田郷のいしぶみめぐりや企画展、歴史的建造物探訪ツアーを開催する。 埋蔵文化財の調査では、国道403号三条北バイパス事業に伴う石田遺跡発掘調査など、開発に伴い破壊される遺跡の記録保存の発掘調査を実施する。また、八十里越が文化庁の歴史の道百選に選定されていることから、只見町と連携しながら現地確認や関係機関と調整を進め、今後適切に保存・活用が図られるように計画の作成を進める。 埋蔵文化財の活用では、歴史の道八十里越リレー講演会として、「天保の大飢饉と八十里越の開削」をテーマに、鶴見大学教授伊藤正義先生を講師に実施する。その他、信濃川火焰型土器が2020年の東京オリンピック・パラリンピックの聖火台のモチーフに採用されるようにアピール事業にも取り組むことになっている。
荒木会長	平成27年度にふるさと記録事業を行わないのはなぜか。

事務局	ふるさと記録事業を止めたということではなく、原稿数が減少していることから今年度は実施を見送った。時期を見計らいながら今後の実施については検討をしていきたいと考えている。
田中委員	遺跡出前体験講座を利用して、子どもたちが学習したい時にはどのような手続きが必要か。また、どれくらい時間がかかるのか
事務局	弓矢、火起こしや古代衣装などの体験をしてもらいながら、昔の暮らしを学習していただくものである。申込書を提出していただき、日時、内容などを相談しながら学びたい内容に合わせて決めている。また、時間も申込者の希望に合わせてることができる。
荒木会長	質問、意見はないか。 (質疑、意見なし)
	(6) 『三条市文化遺産リスト』追加候補物件について
荒木会長	事務局より説明願いたい。
事務局	市内に所在する指定や登録になっている以外の文化遺産について、保護が必要な物件を文化財保護審議会委員から推薦していただき、現在 147 物件をリストに掲載している。リストに掲載されていない未指定の物件で、保存・活用が必要と認められる市内所在の文化遺産を調査表に記入し提出していただきたい。
荒木会長	各委員から候補物件の推薦をお願いしたい。 何か質問、意見はあるか。
佐藤委員	リストに掲載する物件は三条市に所在するものでなくてはならないのか。三条市上保内出身で小柳司気太先生がいられる。その関係資料が新潟市に所在しているが、それを指定することは可能か。また、諸橋轍次博士の関係資料が市外にあるものをリストの対象にすることはできるのか。
事務局	三条市の文化遺産として保護の対象とするものであるため、リストに掲載するものはあくまでも市内に所在する物件である。市の指定文化財に指定するものも、市内に所在していることが必要である。
荒木会長	市外にある物件については、難しいと思う。三条市内に所在する小柳司気太先生に関する別の物件があれば候補物件に推薦していただきたいと思う。
平山委員	文化遺産リストは公開しているのか。
事務局	今後の文化財保護のための内部資料として作成しているので公開していない。
荒木会長	三条市内の小中学校で所蔵している美術品、古い写真や学校記録などがある。空き教室を利用して資料室としている学校があり、それらを展示したりしているが、大切な資料がピンで壁に止められていたり、貴重な写真がむき出しで展示されていることがある。 小・中学校がどのようなものを所蔵しているか調査されているのだろうか。学校は数年で教職員が転勤になる場合が多いので、それらの管理について不十分なこともみられるようだ。たとえば、大正時代の卒業生の写真が無造作に置かれている場合がある。
石澤委員	私も荒木会長と同じようなことを思っていた。諸橋博士が書かれた校歌や学校の校

	<p>章旗などの古い品々がどこに保存されているのか聞きたい人たちがいる。卒業後何十年か経つと自分たちが通っていた頃のものがどこにあるのだろうかという話になる。せめてどこに所蔵、保管されているかわかるだけでもありがたい。</p>
荒木会長	<p>所蔵品について、先生がその内容について詳しくわからない場合がある。例えば、廊下にある書はだれのものか。諸橋博士のものであったが、所蔵している学校自身がそのことを知らない。学校が所蔵品について調査してリストをしっかりと作成し、それらの内容について知っておく必要があるのではないか。</p>
田中委員	<p>下田地区の小学校の校長室には、かならず一つ諸橋博士の額が飾られている。それ以外のも写真とかあるかと思うがよくわからないのが現状である。</p>
石澤委員	<p>統合してなくなった学校がある。例えば鹿峠中学校、森町中学校などにも所蔵品があったが、それが今どこに引き継がれているかわからないのではないか。教職員も変わり、どのように引き継がれているかわからないが、教育委員会が管理しているどこかに保管されているはずである。</p>
荒木会長	<p>学校管理者が台帳を作ることが必要である。また、学校にあるそのような貴重な品々を大切に伝えていくという気持ちが大事ではないか。</p> <p>四日町小学校の沿革史をみると、終戦後の9月に処分した記録がある。軍事に関係するようなものは廃棄した。破棄した記録があるのだから、学校の文化的財産のリストも学校にはあるはずだ。</p> <p>このような点を教育委員会や学校などで考えてもらいたい。</p>
事務局	<p>各委員から学校の所蔵品の台帳の確認が必要であるなどの要望がだされたが、意見を聞きながら今後の方向を考えていきたい。</p>
荒木会長	<p>質問、意見はないか。</p>
	<p>(質疑、意見なし)</p>
	<p>(7) その他</p>
荒木会長	<p>他に何かあるか。</p>
岡村委員	<p>市指定天然記念物の芝地鶏の飼育者が減っており、保存会には5人しかいない。新しく飼育してみたいという人もいな状況である。興味があるという人がいられたら照会してほしい。後継者育成の課題について行政側も一緒に考えていただきたい。</p>
荒木会長	<p>何か質問、意見はあるか。</p>
	<p>(質疑、意見なし)</p>
荒木会長	<p>これで閉会とする。</p>

以上